

今やりたいことは、今、精一杯やってみる！



演劇ファミリー Myu

い さ か じゅん こ
井坂純子さん

「みの〜れは、私の青春の真ん中にある場所」と、にこやかに語る井坂さん。

みの〜れと共に生活するスタイル

Minole Life
のすすめ

No.99

秋風が心地よい季節になりました。空が高く、いわし雲やさば雲が見られるのでのんびり眺めるのもいいですね。長い夜を虫たちのオーケストラを聴きながら読書をしたり、音楽に耳を傾けるのも楽しいでしょう。今回は、みの〜れ住民劇団ファミリーMyuのメンバーで小美玉市堅倉地区出身、北茨城市にお住いの井坂純子さんを取材します。

冬のMyu公演 クリスマス 準備着々！

井坂さんは、小学生のころ、みの〜れこけら落とし公演『田んぼの神様』からMyuに関わっています。その後、『こぶけやきが泣いている』など、ほとんどの作品で舞台上に立ち『我が家の天ぷら』の時に裏方に回りました。高校に進学すると通うのが難しくなりMyuを一旦卒業しました。「私は、とてもあがり症なので、それを克服するためにMyuに入りました。中学校では演劇部だったので、Myuと部活で、中学時代はみの〜れ漬けになっていましたね。Myuでは、練習の時から自分をどんどん出して行かないと、拾ってもらえないということを経験し、悔しい思いを何度もしました(笑)」と懐かしそうに話してくれました。

その後は、「みの〜れで、いつも見ていた楽団四季ジョリーフォレストジャズオーケストラに憧れていたもので、高校では吹奏楽部に入り、テナーサクスを担当していました。大学生活は千葉に住んでいたのですが、東京デイズニールランドでのバイトなど様々な経験を積み、色々な引き出しが出来ました。考えてみると、みの〜れでの経験が、高校大学時代から現在までの自分にとっても役に立っていると思います」と話す井坂さんは輝いています。

Myuに戻ってきたきっかけを聞いてみると、「今年の春、大学を卒業して北茨城市の高校の先生に採用され、演劇部の顧問になったため、7年ぶりにMyuに戻ってきました。また、以前Myuの歌唱指導をしてくれ、とてもお世話になった畠井伸子先生の訃報を聞いて知っている人がずっといる訳ではないんだなって思って、無理をしても、やりたいことはやっていた方がいいなと思いました。久しぶりの稽古では、前からいるメンバーから『あっ！じゅんじゅん、変わってないね』と声をかけられて嬉しかったです。私がかいた頃のMyuはプロの先

生に演出などをやっていたので、今も、住民の手で脚本・演出がされていて驚きました。ジョンニー(新井良和さん)演出の舞台は初めてでとても新鮮に感じています」と井坂さん。

12月公演に向けて聞いていると、「小中学生の頃、Myuの大人のメンバーの方々がたくさんお世話になったので、今度は私が、子どもとの懸け橋になってMyu全体を見ていけたらいいなと思います。今でも、当時お世話になったメンバーの前だと童心に戻ってしまうんですよ(笑)。今のMyuは、ダンスの出来る子がそろっていて、それぞれが素敵に輝いている姿が見られる舞台になると思います。小美玉市にはこんなキラキラ輝いている人がいるんだというところを親に来てもらいたいです」と話してくれました。

12月13日(日)に行われる「聖夜の贈りもの」・心がポカポカ温まるファミリーミュージカルをぜひ観に来て下さい。

(藤田 佐知子)